

認証審査の否認チェックリスト

5つの審査ごとの点検、名前の例12業種、申込みの下書き、落ちたときの切り分けまでの7枚

この7枚でできること

- ☐ 5つの審査それぞれで、自分の申請が落ちる型に当たっていないかを1つずつ確かめられる
- ☐ 止まる名前と通る名前の例から、申請したら変えられないアカウント名を決め切れる
- ☐ 申込みフォームに書く内容を、画面を開く前に下書きできる
- ☐ 落ちて理由が知らされなくても、疑う順番どおりに当たりを付けて出し直せる

この審査の性質

落ちても理由は教えてもらえません。結果が出るまで5から10営業日かかり、途中経過も案内されません。**出してから直す、という進め方ができないので、出す前に潰しておくしかありません。**

使う順番 → 2～4ページで5つの審査を点検 → 5ページで取り返しがつかないことを確認 → 6ページの30分チェックで申請。落ちたら7ページ。

目次

2	審査1 業種と、審査2 実在確認 利用できない業種の一覧、使えないサイト3つ、自分のサイトの点検欄
3	審査3 アカウント名 落ちる型と公式のNG例、12業種の止まる名前と通る名前
4	審査4 申込情報と、審査5 本人確認 申込みフォームの下書き表と、本人確認の連絡を受ける準備
5	取り返しがつかないことと、審査の流れ 申請の前に知っておくことの一覧、業種の欄の注意、4段階の流れ
6	申請前の30分チェック 出す前に片づける4つと、5つの審査の総点検
7	落ちたときの切り分けと、出し直しの記録 疑う順番の表と、直したことを残す記録表

数字と決まりの出どころ

審査の5つの中身、使えないサイト、名前のNG例、本人確認の連絡方法、審査の日数などは、記事「認証の申請と審査」に書いた内容（LINEヤフーの公式コラム、LINE公式アカウントガイドライン、管理画面から進む認証申請の案内ページと、GOENの管理画面で実際に確かめたもの）だけ載せています。アカウント名の20文字の上限は、同じ講座の第6回（開設）の記事に書いたものです。内容は2026年10月1日時点の記事に基づきます。フォームの全項目は公式が一覧で公開していないため、実際の画面ではここに無い入力欄があることがあります。店と人の名前の例は架空です。

審査1 業種と、審査2 実在確認

ここに当たると、他をどれだけ整えても通らない

審査1 業種・業態、商品・サービス

公式がLINE公式アカウント自体を利用できないとしている業種です（出典はLINE公式アカウントガイドライン）。

区分	例
医療	国内で承認されていない医薬品、医薬品の個人輸入代行
出会い	出会い系、出会い喫茶、ライブチャット
アダルト	性風俗、アダルトショップ、メンズエステなど
情報商材	情報商材、能力開発商材、リアルマネートレード、SNSアカウントの売買
連鎖販売	ねずみ講、マルチ商法、MLM
悪質商法	霊感商法など
金融まわり	クレジットカードの現金化
ギャンブル	換金性のあるもの、オンラインカジノ
その他	個人情報の販売、模倣品・海賊版

- ☐ 自分の商売が、上の一覧に当たっていない
- ☐ 個人の情報発信ではなく、事業として実在している（副業でも屋号でも、事業であることが前提）

審査2 実在確認（いちばん落ちる場所）

使えないサイト	なぜ	使えるサイト
未完成・準備中のサイト	事業の実態が確認できない	店や会社やサービスの公式サイト
個人のSNS	事業の情報として扱われない	店のSNS（個人のものではなく、事業として運用しているもの）
LINE公式アカウントの友だち登録用URL、プロフィールURL	LINEの中の情報なので実在の裏付けにならない	店の情報が載っている情報サイト

条件は、サービス内容と住所と連絡先が確認できること。

自分の申請に使うサイトを点検する

申請に使うURL

- ☐ 公開されていて、「準備中」の表示が残っていない
- ☐ 住所が載っている
- ☐ サービス内容が載っている
- ☐ 連絡先が載っている

公式が挙げている落ちる型

落ちる型	中身
正式名称が入っていない	極端な略称や、店名を外して業種名だけにしたもの
誤字脱字がある	単純なミス
実在を誤認させる	実際には無い店舗名や、他社と紛らわしいもの
法人格の位置が違う	株式会社の付け方が実際の登記と違う
関連サービスと誤認	LINEヤフーの関連サービスと誤認させる名前

個人名は通らない

個人名や個人が特定できる名前は通りません。店名に個人名が付いているだけでも止まります。公式が挙げているNG例はこの4つです。

山田太郎	ヤマダタロウ
BROWNサロン 山田花子	BROWN代表 山田花子

12業種の止まる名前と通る名前（店名も人名もすべて架空）

業種	止まる名前	どの型に当たるか	通る名前（正式名称＋探される言葉）
カフェ	~~カフェ~~ 横浜元町	正式名称が入っていない（業種名だけ）	ひだまり珈琲 横浜元町 11字
美容室	hair-佐藤みゆき	個人名が入っている	hair lumo 三軒茶屋の美容室 18字
整体	~~こも整~~	正式名称が入っていない（極端な略称）	こもれび整体院 船橋駅前 12字
学習塾	明星ゼミ-塾長-高橋	個人名が付いている	明星ゼミ 浦和の個別指導塾 13字
工務店	みどり住建株式会社	法人格の位置が登記と違う（登記は株式会社が前）	株式会社みどり住建 西宮の注文住宅 17字
パン屋	~~麦の気~~	誤字脱字（正しくは麦の木）	麦の木 天然酵母のパン屋 12字
ネイルサロン	~~nail mint~~ 吉祥寺本店	実在を誤認させる（支店が無いのに本店）	nail mint 吉祥寺のネイル 17字
パーソナルジム	~~LINEジム~~ KAI	LINEヤフーの関連サービスと誤認させる	KAI パーソナルジム 11字
写真スタジオ	七五三の写真館	正式名称が入っていない（業種名だけ）	スタジオ灯 七五三とお宮参り 14字
ペットサロン	トリマー-鈴木のお店	個人名が入っている	ぼち庵 町田の犬のトリミング 14字
会計事務所	~~会計事務所~~ 創業支援	正式名称が入っていない（業種名だけ）	あおば会計事務所 創業の相談 14字
通販	~~こより~~	正式名称が入っていない（極端な略称）	和紙の店 こより 手すき和紙 14字

通る名前の字数はこのシートを作るときに機械で数えたもの（20文字まで）。地名、業種、特徴を足すのは、認証済になるとアカウント名が検索のキーワードになるからです。

審査4 申込情報と、審査5 本人確認

フォームに書いた内容が、そのまま審査される

申込みフォームの下書き（画面を開く前に、右の欄を埋める）

項目	埋め方	やりがちな失敗	自分の申請で書く内容
アカウント名	正式名称を含める。探される言葉を足す	個人名を入れる。極端に略す	
申込者の氏名	フルネームで書く	名字だけ、肩書だけ、会社名だけ	
メールアドレス	結果がここに届く。日常的に見るもの	使っていないアドレス	
電話番号	申請後10営業日以内に連絡が来る	出られない番号	
URL	事業内容と住所と連絡先が載っているサイト	準備中のページ、個人のSNS、LINEの友だち追加URL	
店舗・施設情報	申請するアカウントの店舗のもの	別店舗の情報を書く	
会社情報	登記どおりに書く	株式会社の位置が登記と違う	

記入そのものは5から10分で終わります。ここに挙げたのは公式の案内ページとコラムで確認できた項目です。実際の画面ではこれ以外の入力欄が出ることがあります。

審査4 申込情報で落ちる型

- ☐ 別の店舗の情報を書いていない（複数店舗を持っていると起きる）
- ☐ 申込者の名前がフルネーム（名字だけ、肩書だけ、会社名だけは止まる）
- ☐ 会社情報が登記どおり

審査5 本人確認の連絡

時期	申請後10営業日以内
電話	0120から始まる番号、または03から始まる番号
メール	linecorp.com のドメインから
連絡先	店舗やサービスの運営元

0120の着信を営業電話だと思って切ってしまう。これで止まるケースが実際にあります。申請したら、しばらくは知らない番号にも出る。メールが迷惑メールに入っていないかも確かめる。
電話に出る人 _____ メールを見る人 _____

取り返しがつかないこと・やり直しがきかないこと

申請したあとは、アカウント名を変えられない	案内ページには「原則、審査で承認されるとアカウント名を変更できなくなります」、公式ページには「申請いただいた後、アカウント名は変更できません」とある。申請の前なら「設定」→「アカウント設定」からいつでも変えられる
「もっといい名前を思いついた」では変えられない	変えられるのは、企業名やサービス名そのものが変わったときだけ。そのときは再審査になる（ガイドラインより）
落ちて理由も教えてもらえない	ガイドラインに「審査結果およびその理由について説明する義務を負わない」とある
途中経過も教えてもらえない	問い合わせても案内されない。待つ以外にない
業種に当たると、他を整えても通らない	2ページの一覧に当たる商売は、名前やサイトを直しても結果は変わらない
申請できるのは「管理者」だけ	運用担当者では申請のボタンが出ない。代理店や制作会社に管理画面を触ってもらっている場合、ここで止まることもある

業種の欄について

管理画面に業種を書き換える欄はありません。設定の「登録情報」にあるのは会社情報・管理者情報・店舗施設情報の3つだけです。「**申請の前に管理画面で業種を直しておく**」という手順は取れません。事業の中身が開設したときと変わっているなら、申請フォームとサイトの記載をいまの事業に合わせておきます。判断に迷うなら、申請の前に問い合わせ窓口で確かめるのが確実です。

申請のやり方と、審査に入ってからの流れ

申請のやり方	段階	中身
すでにアカウントがある 「設定」→「アカウント設定」→「アカウント情報」の認証ステータスにある「アカウント認証をリクエスト」→案内ページの下から申込みフォームへ	1 申込みフォームに記入	5から10分ほど
これから開設する 開設の途中で認証をリクエストするか選ぶ画面が出る。ただし名前もサイトも固まっていない段階になるので、同時の申請はおすすめしない	2 審査	本人確認を含めて5から10営業日
	3 本人確認	電話またはメールで連絡が来る
	4 結果の案内	申請時のメールアドレスに届く

審査中もアカウントは普通に使えます。配信もリッチメニューも今までどおり動くので、待つあいだに中身を作り込めます。

申請前の30分チェック

ここまでやってから出すと、落ちる要素がかなり減る

出す前に片づける4つ

	やること	済んだ日・メモ
☐	1 サイトを開いて、事業内容と住所と連絡先が載っているか確認する。載っていなければ足す。準備中の表示が残っていたら消す	
☐	2 アカウント名を声に出して読む。正式名称が入っているか。個人名が混ざっていないか。お客さんが打ち込みそうな言葉が入っているか	
☐	3 申込者の名前をフルネームにする。名字だけになっていないか確認する	
☐	4 申請してから10営業日、電話とメールに出られる体制にする。出張や長期休暇と重なるなら、ずらしたほうが安全	

確定させるアカウント名（1マス1文字、20マスまで）

5

10

15

20

色の付いた10マスで何のアカウントが分かるようにします。トークリストでは途中で切れるためです（第6回 開設の記事より）。

5つの審査の総点検（全部に印が付いてから申請する）

☐	審査1 業種	2ページの一覧に当たっていない。個人の発信ではなく事業として実在している
☐	審査2 実在確認	使うサイトが公開済みで、サービス内容と住所と連絡先が載っている。個人のSNSやLINEのURLではない
☐	審査3 アカウント名	正式名称が入っている。個人名なし、誤字なし、法人格の位置が登記どおり、関連サービスと紛らわしくない
☐	審査4 申込情報	申請するアカウントの店舗の情報。申込者はフルネーム
☐	審査5 本人確認	申請してから10営業日、0120と03の電話に出られ、linecorp.com のメールを見られる

申請する日

年

月

日

申請する人（管理者）

10営業日後の目安

年

月

日

この期間の出張・休み

なし

・

あり

（

月

日から

月

日まで）

落ちたときの切り分けと、出し直しの記録

理由は知らされない。当てずっぽうで出し直さない

落ちたこと自体で申請の道が閉じるとは、公式には書かれていません。ただし**原因が直っていないければ、何度出しても結果は同じです**。上から順に照らし合わせて当たりを付け、右の欄に見つけたことを書きます。

順	審査	見ること	メモ	見つけたこと
1	業種	ガイドラインの一覧に当たっていないか	当たっていたら、他を直しても結果は同じ	
2	サイト	準備中、個人のSNS、LINEのURLを出していないか。住所と連絡先は載っているか	最初に疑う場所。公式が使えないサイトの例を3つ挙げて図で示している	
3	アカウント名	正式名称、個人名、誤字、法人格の位置、関連サービスとの紛らわしさ	3ページの表と照らし合わせる	
4	申込情報	別店舗の情報、名字だけの氏名	フォームの下書き（4ページ）と見比べる	
5	本人確認	0120や03の電話を切っていないか。メールが迷惑メールに入っていないか	着信履歴と迷惑メールフォルダを見る	

出し直しの記録

回	申請した日	結果が来た日	結果	前回から直したこと
1回目				
2回目				
3回目				

申請の前に一度見てほしい方へ

アカウント名やサイトがこれで通りそうか不安な方は、この特典を受け取った公式LINEにそのままメッセージをください。お店の状況をうかがってからお返事します。